

# 林けいじ府議会レポート

はやくやさしくしんけんに取り組みます



発行

大阪府議会議員 林 啓二

〒569-0077 高槻市野見町 3-19  
[TEL] 072-672-1523  
[FAX] 072-672-1528  
[URL] http://homepage3.nifty.com/kei-hayashi/  
[E-mail] kei-hayashi@mbn.nifty.com



## 平成27年9月定例会より

林府議は総務常任委員会で、

- ① 「外国人滞在施設経営事業条例」について
- ② 咲洲庁舎のあり方について
- ③ 相対評価による人事評価制度について などを議論しました。

### 1 全国初の「外国人滞在施設経営事業条例」を可決

訪日外国人の民泊が可能に

林府議は総務常任委員会で、住民トラブルを防ぐための具体策などを指摘したところ、府として新たな措置を明示しました。

- ① 滞在者名簿の義務化やパスポートによる本人確認
- ② 住民の苦情があった居室要件の順守が確認出来ない場合の立ち入り調査
- ③ ルールが順守されない場合の認定の取り消しなどを条例化。さらに、条例施行1年後に運用状況を検証し、修正できる付帯決議を追記されました。



### 2 咲洲庁舎のあり方について議論

空きテナント対策について指摘、初めて公募へ

咲洲庁舎について、今なすべきは、二庁舎併用による非効率をこれ以上野放しにせず、一刻も早く機会損失、今後の支出を最小限にすること。そして、空きスペースの目立つ咲洲ビルを有効活用することであると指摘した。さらに、スピード感をもって、大手前への庁舎集約と咲洲ビルの処分を決断すべきであると訴えました。

咲洲ビルの現状は、空室率4割を有効活用すべきであり、これまで空きテナントの募集をしていなかった事実を明らかにした上で、早期に募集をすべきことを訴えました。答弁で、11月に初めて公募を始める方針を示しました。



▲公明党がイメージする集約庁舎



▲咲洲ビル

### 3 相対評価による人事評価制度について

執務意欲の向上につながっているのか、疑問

昨年度の検証結果では、人事評価制度が職員の執務意欲の向上にいないことが明らかとなった。相当な負担をかけて評価することで執務意欲が上がらないばかりか、逆に下がるということならば、むしろ、相対評価をしない方がましであると指摘した。当時、知事からは、運用改善や制度のあり方の検討を行う旨の答弁があった。しかし、4人に1人に当たる2145人の職員が執務意欲を低下させている現実を重く受け止めて、早期に相対評価を止めるべきであると訴えました。

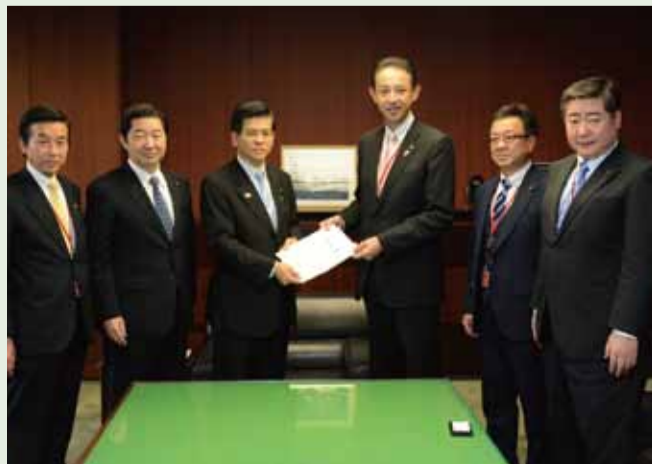
## フォトレポート



▲府議団より知事要望する (8月)



▲高槻市より会派要望を受ける (10月)



▲濱田高槻市長と共に石井国交大臣へ要望 (12月)



▲府立中之島図書館を視察 (7月)



▲千葉県へ防犯ボックスを視察 (9月)